



公益社団法人 北海道観光機構
会長

小金澤 健司

KOGANEZAWA KENJI

令和7年1月11日
享年64歳にて
ご逝去されました。
心よりお悔やみ
申し上げます。

鶴

雅グループ創業70周年
の節目を迎えられまし
たことに心からお祝い申し上げ
ます。

北海道を代表する宿泊施設
として、長年にわたり多くのお
客さまに心温まるおもてなし
と感動を提供し続け、また、地
域社会にも大きな貢献をされ
ておりますことは、ひとえに皆
さまの日々のご努力と情熱のた
まものであり、心より敬意を表
します。

これまでの70年の歴史の中で
は、数々の厳しい状況があったと
拝察します。近年では、2019
年末に発生し2023年まで続

いた新型コロナウイルスの蔓延と
いう未曾有の状況下においても、
困難を乗り越え、従業員とお客
様の安全を最優先に考えた対
策を講じながら、サービスの質を
維持し続け、また、リモートワー
クの導入やオンラインでのイベン
ト開催など、逆境を乗り越えて
きた新しい挑戦は、観光業界の
模範になるものと考えます。

鶴雅グループの各施設は、北
海道の「郷土力」をテーマに、個
性的で満足度の高い宿づくりに
こだわりの自然との調和を大切
にし、地域の文化や伝統を尊重
した独自のスタイルで、多くの
方々に愛されてきたことと存じ

ます。例えば、阿寒湖温泉の鶴
雅ウイングスでは、アイヌ文化を
取り入れたデザインやプログラム
が好評を博し、訪れる人々に深
い印象を与えています。また、定
山溪温泉の鶴雅リゾートスパ森
の詩では、四季折々の美しい自然
を楽しみながら、心身ともにリ
フレッシュできる癒しの空間を提
供されており、それぞれに明解
なコンセプトを掲げて北海道の
観光振興に努められております
ことにあらためて感謝を申し上
げます。

また、大西社長様が日頃より
使われておられるアイヌ語の挨拶
の言葉「イラン・カラ・プテ」（直

訳…あなたの心にそっと触れさ
せてくださいの意味）を、北海
道を訪れる人々を迎える際のア
イヌ文化への理解促進や共感を
高めるシンボルとなる「おもてな
し」の合言葉として大切にしま
がら、ホスピタリティ向上に取り
組まれているからこそ、今の鶴雅
グループがあるものと思います。

最後に、大西社長様におかれ
ましては、北海道観光機構の特
別顧問として本道観光の発展に
ご尽力頂いていることに感謝を
申し上げますとともに、鶴雅グ
ループが更なる発展をされます
よう祈念申し上げお祝いの言葉
といたします。